

「第15回コカ・コーラ環境教育賞」受賞者決定！ -全国133団体・個人の中から、優れた環境教育活動を実施している10団体を選出-

財団法人コカ・コーラ教育・環境財団(所在地:東京都港区 理事長:縄 英明)は、このたび、「第15回コカ・コーラ環境教育賞」の受賞者として、全国から推薦された環境教育活動に携わる133組の団体および個人の中から、特に顕著な活動を行っている以下の10団体を選出しました。

「第15回コカ・コーラ環境教育賞」受賞者:10団体

北海道 <small>しべちや</small> 標茶高等学校	北海道川上郡
仙台市立八木山 <small>やぎやまみなみ</small> 南小学校	宮城県仙台市
仙台市立北六番丁 <small>きたろくばんちよう</small> 小学校	宮城県仙台市
日光市立中宮祠 <small>ちゆうぐうし</small> 小学校	栃木県日光市
葛飾区立金町 <small>かなまち</small> 小学校	東京都葛飾区
片瀬少年少女探検隊	神奈川県藤沢市
中津川市立加子母 <small>かしも</small> 中学校	岐阜県中津川市
大阪府立八尾 <small>やお</small> 高等学校	大阪府八尾市
愛媛県立松山工業高等学校	愛媛県松山市
つのもれみどりの少年団	大分県 <small>くす</small> 玖珠郡

上記の団体は、1) 青少年を中心とした活動であり、組織化されていること、2) 活動が実践的かつ継続的であること、3) ボランティア活動であること、4) 自然に関する知識を教授する活動にとどまらず、野外での実践を通じて、主体的に自然を理解・大切にすることを教育活動であること、5) 学校をベースとした活動であっても地域コミュニティへの働きかけのある団体・個人であること、などを選考基準として選考委員会で決定しました。併せて、「環境教育賞」に準ずる優れた活動を継続している10団体を「第15回コカ・コーラ環境教育賞奨励賞」、さらに107団体・個人を「第15回コカ・コーラ環境教育賞主催者賞」として決定いたしました。

「コカ・コーラ環境教育賞」受賞団体には、表彰式において、楯と活動助成金(30万円)を贈呈いたします。また、「コカ・コーラ環境教育賞奨励賞」受賞団体には副賞として3万円、「コカ・コーラ環境教育賞主催者賞」受賞団体には1万円相当の副賞を贈呈いたします。

コカ・コーラ環境教育賞受賞 10 団体に対しては、8 月 23 日(土)に北海道夕張郡栗山町にて開催される『コカ・コーラ環境フォーラム』の中で表彰式を行い、楯と活動助成金(30 万円)を贈呈いたします。表彰式後には、環境教育などを行う宿泊型施設「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」として再生される旧雨煙別小学校を拠点に、豊かな自然に恵まれた栗山町で自然体験プログラムを実施する予定です。また、奨励賞、主催者賞の受賞者につきましては、表彰式開催日以降、各地で表彰状と副賞を贈呈する予定です。

コカ・コーラ環境教育賞は、環境ボランティア活動の助成、支援を行うことで環境教育・環境保全活動の促進することを目的に、1994 年に創設されました。以来 14 年にわたり、環境教育に関する活動が顕著である団体・個人へ贈賞されています。今年も 133 組の団体・個人が推薦され、「コカ・コーラ環境教育賞」が創設されてから、これまでの推薦団体総数は 1018 組(のべ)に達しています。

■財団法人コカ・コーラ教育・環境財団

財団法人コカ・コーラ教育・環境財団は、2007 年 6 月に 37 年間継続していた日本コカ・コーラボトラーズ育英会と 14 年継続していたコカ・コーラ環境教育財団の事業を継承し、一元的に運営、推進できる母体として設立されました。心豊かでたくましい人づくり(Healthy Active Life)を理念とし、環境教育、教育支援、スポーツ教育を柱とした貢献事業を企画、提供することにより、国際社会が求める青少年の育成と、彼らを取り巻く地域社会を支える人材の育成を通じ、豊かな社会の形成及び国際親善に寄与することを目的に多様な事業を展開しています。

■第 15 回コカ・コーラ環境教育賞について

(主催:財団法人コカ・コーラ教育・環境財団 協力:読売新聞社 後援:環境省)

名称	表彰内容
①コカ・コーラ環境教育賞	正賞:楯、副賞 30 万円、表彰式ご招待
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年を中心とした活動であり、組織化されていること ・活動が実践的かつ継続的であること ・ボランティア活動であること ・自然に関する知識を教育する活動にとどまらず、野外での実践を通じて、主体的に自然を理解・大切に する教育活動であること ・学校をベースとした活動であつても地域コミュニティへの働きかけのある団体・個人であること 上記の選考基準を満たし、推薦された中で特筆される活動内容であつた団体・個人	
②コカ・コーラ環境教育賞奨励賞	正賞:表彰状、副賞:3 万円
活動内容が上記コカ・コーラ環境教育賞に準じたもので、また将来の発展性が期待されている団体・個人	
③コカ・コーラ環境教育賞主催者賞	正賞:表彰状、副賞:1 万円相当
上記に至らなかった推薦候補の団体・個人 ※過去の受賞者を除く	

■雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス

財団法人コカ・コーラ教育・環境財団は、NPO 法人雨煙別学校とともに北海道栗山町の廃校を、環境教育を行う宿泊型施設「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」として再生します。同施設を拠点に、栗山町の豊かな自然環境の中で積極的な環境教育プログラムを展開し、次世代を担う青少年の育成を目指します。(2009 年 4 月オープン予定)

第 15 回コカ・コーラ環境教育賞 各賞受賞者一覧 *敬称略

◆「第 15 回コカ・コーラ環境教育賞」受賞者:10 団体

北海道標茶高等学校	北海道川上郡
仙台市立八木山南小学校	宮城県仙台市
仙台市立北六番丁小学校	宮城県仙台市
日光市立中宮祠小学校	栃木県日光市
葛飾区立金町小学校	東京都葛飾区
片瀬少年少女探検隊	神奈川県藤沢市
中津川市立加子母中学校	岐阜県中津川市
大阪府立八尾高等学校	大阪府八尾市
愛媛県立松山工業高等学校	愛媛県松山市
つのむれみどりの少年団	大分県玖珠郡

◆「第 15 回コカ・コーラ環境教育賞奨励賞」受賞者:10 団体

北海道札幌藻岩高等学校	北海道札幌市
つがる市立稲垣中学校	青森県つがる市
宮城県石巻工業高等学校 天文物理部	宮城県石巻市
新庄市立北辰小学校	山形県新庄市
おおせ元気っ子クラブ	茨城県日立市
府中市立南白糸台小学校	東京都府中市
静岡県立静岡農業高等学校	静岡県静岡市
小坂井町立小坂井西小学校	愛知県宝飯郡
北九州市立曽根東小学校	福岡県北九州市
国頭村立安田小学校	沖縄県国頭郡

◆「第 15 回コカ・コーラ環境教育賞主催者賞」受賞者 107 団体

真駒内川水辺の楽校	北海道札幌市
愛林少年団	北海道江別市
特定非営利活動法人 NATURAS	北海道函館市
宮古市立亀岳小学校	岩手県宮古市
大槌町立小鎚小学校	岩手県上閉伊郡
岩手県立高田高等学校	岩手県陸前高田市
大仙市立西仙北西中学校	秋田県大仙市
にかほ市立平沢小学校	秋田県にかほ市
山元町立山下第二小学校	宮城県亘理郡
気仙沼市立唐桑小学校	宮城県気仙沼市
尾瀬自然保護指導員福島県連絡協議会	福島県南会津郡
福島県立勿来高等学校 理研部	福島県いわき市
角川里の自然環境学校	山形県最上郡
特定非営利活動法人 NPO ホタル野	千葉県流山市
(社)ガールスカウト日本連盟千葉県支部千葉地区協議会	千葉県千葉市
千葉県立船橋芝山高等学校 科学研究部	千葉県船橋市
NPO 法人しろい環境塾	千葉県白井市
坂東市立七郷小学校	茨城県坂東市
牛久市立神谷小学校	茨城県牛久市
にこにこエコクラブ(壬生北小学校)	栃木県下都賀郡
今三環境調査隊	栃木県日光市

さくら市立穂積小学校	栃木県さくら市
都賀町立赤津小学校	栃木県下都賀郡
さいたま市立春野小学校	埼玉県さいたま市
山崎山こどもエコクラブ	埼玉県宮代町
大妻嵐山中学校高等学校	埼玉県比企郡
しらさわエコキッズクラブ	群馬県沼田市
群馬県立尾瀬高等学校	群馬県沼田市
群馬県立高崎高等養護学校	群馬県高崎市
財団法人尾瀬保護財団「尾瀬ボランティア」	群馬県前橋市
柏崎市立高浜小学校	新潟県柏崎市
新潟県立佐渡総合高等学校	新潟県佐渡市
新潟市立葛塚小学校	新潟県新潟市
特定非営利活動法人 東京港グリーンボランティア	東京都杉並区
特定非営利活動法人 地球環境カレッジ	東京都世田谷区
港区立台場児童館エコレンジャーグループ	東京都港区
特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム	東京都江戸川区
NPO 法人「水辺と生物環境保全推進機構」	東京都江東区
北区立岩淵小学校	東京都北区
杉並区立杉並第九小学校	東京都杉並区
井の頭かんさつ会	東京都三鷹市
横須賀市立野比小学校	神奈川県横須賀市
川崎市立井田小学校	神奈川県川崎市
なごや環境塾 3 期生の会(三環の会)	愛知県江南市
せと森の自然学校運営委員会	愛知県瀬戸市
半田こどもエコクラブ	愛知県半田市
愛知県立海翔高等学校	愛知県弥富市
関市立瀬尻小学校	岐阜県関市
こどもエコクラブ 員弁中学校選択理科 2 年、3 年	三重県いなべ市
富山県立魚津工業高等学校	富山県魚津市
石川県立明和養護学校	石川県石川郡
福井市春山小学校	福井県福井市
長野県臼田高等学校農業クラブ	長野県佐久市
大町グラウンドワーク「わっぱらんの会」	長野県大町市
香南市立野市小学校	高知県香南市
あわっ子！エコ！クラブ	徳島県徳島市
阿波市立市場小学校	徳島県阿波市
貝塚市立南小学校 かわっぱクラブ	大阪府貝塚市
大阪府立高津高等学校 生物研究部	大阪府大阪市
大阪府立八尾北高等学校	大阪府八尾市
大阪府立平野高等学校	大阪府大阪市
大阪府立千里高等学校	大阪府吹田市
大阪府立能勢高等学校 環境調査班	大阪府豊能郡
大阪府立富田林高等学校 生徒会	大阪府富田林市
住吉川清流の会	兵庫県神戸市
奥須磨公園にトンボを育てる会	兵庫県神戸市
国立公園成ヶ島を美しくする会	兵庫県洲本市
加古川市立氷丘中学校	兵庫県加古川市
京都府立北桑田高等学校 森林リサーチ科	京都府京都市

京都市立養徳小学校	京都府京都市
わくわくアドベンチャークラブ	京都府京都市
呉市立野路中切小学校	広島県呉市
広島市立上温品小学校3年生	広島県広島市
東広島市立志和堀小学校	広島県東広島市
盈進中学・高校環境科学研究部	広島県福山市
大田市立温泉津小学校	島根県大田市
浜田市立第四中学校 紅葉会	島根県浜田市
出雲市立田儀小学校	島根県出雲市
出雲市立佐田中学校	島根県出雲市
飯南町立赤名小学校	島根県飯石郡
鳥取県東伯郡琴浦町立赤碕中学校	鳥取県東伯郡
南部町立会见小学校	鳥取県西伯郡
鳥取県立智頭農林高等学校	鳥取県八頭郡
福智町立伊方小学校	福岡県田川郡
北九州市立八枝小学校	福岡県北九州市
宇美町立宇美小学校	福岡県糟屋郡
柳川市立両開小学校	福岡県柳川市
北九州市立城南中学校	福岡県北九州市
荏田町立南原小学校	福岡県京都郡
遠賀町立遠賀南中学校	福岡県遠賀郡
太宰府立太宰府西小学校	福岡県太宰府市
北九州市立八幡小学校	福岡県北九州市
北九州市立沖田中学校	福岡県北九州市
嘉麻市立稲築西小学校 飼育栽培委員会	福岡県嘉麻市
古賀市立 古賀西小学校	福岡県古賀市
飯塚市立八木山小学校	福岡県飯塚市
北九州市立風師中学校	福岡県北九州市
佐賀県立武雄高等学校 科学部	佐賀県武雄市
佐賀県立唐津南高校農業クラブ	佐賀県唐津市
対馬市立巖原小学校	長崎県対馬市
熊本県立芦北高等学校	熊本県葦北郡
熊本県立鹿本農業高等学校 バイオ研究会	熊本県山鹿市
草牟田小エコクラブ	鹿児島県鹿児島市
亀山小古代サバイバルクラブ	鹿児島県薩摩川内市
門川町立門川小学校	宮崎県東臼杵郡
ひむか・おひさま共和国	宮崎県宮崎市
自然と遊ぼう「ありんこクラブ」	大分県中津市

※なお、過去にコカ・コーラ環境教育賞奨励賞または主催者賞を受賞されている団体につきましては、同一の賞を重複して受賞することができないため、今回は授賞対象外とさせていただきます。

「第15回コカ・コーラ環境教育賞」受賞者活動内容 *敬称略

●北海道標茶高等学校(北海道川上郡/校長:小川龍幸)

失われつつある釧路湿原の豊かな自然を、次世代に引き継ぐことを目的とした保護・再生プロジェクト。湿原に自生する水生生物の水質浄化能力を活用するため、水質浄化実験のみならず、湿原再生ハウスやバイオ温室での植物育成などの取り組みを行っている。これらの活動を多くの人に伝えるため、環境教育に関する研究会や講演会を積極的に開催している。

●仙台市立八木山南小学校(宮城県仙台市/校長:飯坂新)

学校裏手に広がる林「学びの森」を舞台に、31年前から環境や自然に触れる学習を実施。学年ごとにオリエンテーリングや森に住む生き物調査、間伐作業などに取り組んでいる。1年生から6年生まで計画的にプログラムが生まれ、入学から卒業まで一貫した環境体験学習が行われている。

●仙台市立北六番丁小学校(宮城県仙台市/校長:白井泰雄)

平成14年度から川を題材にした環境教育を行っていたが、平成16年度に「エネルギー教育実践校」に選定されたことをきっかけに、全校でエネルギー環境教育に取り組む。地元の大学や企業と連携しながら、環境や地球温暖化をテーマにした継続的な観察調査活動を行っている。

●日光市立中宮祠小学校(栃木県日光市/校長:中嶋典男)

過疎化が進む奥日光で地域の自然の大切さを理解し、それを守っていく人材を育成するため、地域の貴重な自然を知り、伝える活動を展開。地域の主要産業であるヒメマスの地引網漁・採卵活動やモミヤカラマツを鹿の欲がいから守るための活動を実施するほか、恵まれた自然を再認識し奥日光を訪れる人々にその魅力を伝えるガイド体験を行っている。

●葛飾区金町小学校(東京都葛飾区/校長:土屋以都子)

CO2 排出削減による地球温暖化防止を目的として、子どもたちが主体となり「金町エコの林作り」を展開。平成16年度より実施しているピオトープでの生態系調査に加えて、本年度は葛飾区内で2番目の芝生校庭を完成させ、芝生の学習を開始。さらに今年から地域の人々と協働で「グリーンキーププロジェクト」委員会を発足し、地域を巻き込んでの一大プロジェクトへ発展している。

●片瀬少年少女探検隊(神奈川県藤沢市/代表:犬山聡彦)

自分たちが住む地域の自然に直接触れ合うことで主体的に自然環境について考えられることができるような活動を展開。片瀬地区の小学4年生から6年生が集まり、月1回のペースで里山や江ノ島の自然観察・調査活動やエコを意識したごみの少ない料理作りなどに取り組む。また次世代スタッフ育成のため、探検隊を卒業して中学生・高校生になった子どもたちには、サポートスタッフとして活動に参加している。

●中津川市立加子母中学校(岐阜県中津川市/校長:福田正晴)

学校に隣接する民有林を「学びの森」として借り受け、地域の人を講師として招き、下草刈り、間伐や植栽等の林業体験、炭焼き体験、森林散策を実施。また間伐材を有効利用した「炭ポット」作りや、炭ポットを利用した「苔玉」作りを行い、地域に配布している。また、個人のテーマに基づき、学びのまとめを報告会で発表している。

●大阪府立八尾高等学校(大阪府八尾市/校長:老田準司)

平成11年に設定された環境教育基本構想に基づき、校内緑化、ピオトープ作り、風力・太陽光発電装置の設置、20kwソーラー発電システムの整備、雨水や井戸水の利用推進など、等身大の生きた教材として、校内環境施設の整備を実施。これらの施設を生かして、生徒による二酸化炭素の削減量、発電状況の確認や、周辺小中学校と共にピオトープでの淡水魚の飼育などを行う。その他、福祉マップを作成、文化祭における生徒デザインのエコバック販売、模擬店でのお皿・コップ再利用などに取り組む。

●愛媛県立松山工業高等学校(愛媛県松山市/校長:松木統生)

小学生に環境問題への関心を持ってもらうことを目的に、電子機械科の生徒が県内小学校で出前授業を実施。電動車いすを改造して製作したソーラーカーの試運転、自作の電動歯ブラシを試してもらうなど子どもの興味を引きやすい体験学習を展開する。そのほか、市内飲食店から使用済み割り箸を回収し、木質ペレットに変換して県内小学校へ冬季暖房燃料として配布したり、地元銀行とともにエネルギー銀行の創設を研究するなどの地域と協力した活動も展開する。

●つのむれみどりの少年団(大分県玖珠郡/代表:藤野哲郎)

自然林に覆われ、野鳥の宝庫である、標高576mの角埋山(つのむれやま)の自然を守るために活動を続ける「つのむれ会」の子供たちの会として、地域の小学生や児童養護施設の子供を中心に結成。毎月1回の自然観察のほか、つのむれ山の緑を育てる活動やクリーン活動などを実施している。